

## 蜜ロウソク

ミツバチは、蜜を蓄えるために防水性の巣を作ります。不思議なことに彼らは、蜜をおなかの中でろうに作り変えることができるのです。5月～6月、森にトチの花が咲くと、養蜂家はハチミツの収穫に大忙しの毎日です。この蜜ロウソクは、その時集められた不用なミツバチの巣が原料です。

人間は、何万年も昔から彼らの恵みを受けて生活してきました。葉や甘味料、蜜酒の原料としてのハチミツ。受粉活動による実り。灯りの文化をもたらした蜜ろう。そんなありがたづくめの彼らを、世界のいたる地域で神の使いと考え感謝してきました。西洋で蜜ろうが、最も神聖なロウソクとして使われてきたのは、こんな背景があるのです。

ちなみに、日本におけるロウソクの始まりも蜜ろうでした。奈良時代に仏教の灯明として中国から輸入され、平安時代に国交が途絶えるまで使われていたそうです。その後、在来種のニホンミツバチが、養蜂には適さなかったため、蜜ろうの収穫量はきわめて少なく、蜜ロウソクは産業になれなかったのです。日本では、代わってハゼやウルシの実から採取する木ろうが使われるようになりました。そして明治から今日において、輸入されるようになったパラフィンろう（石油系）が主流となったのです。

## 蜜ろうの魅力

蜜ろうの炎は、油煙の出ない赤っぽい落ちついた光を保ちます。消灯後もいやな匂いがせず、燃焼時間が長いのが特長です。また蜜ろうの色は、ミツバチが食べる原料のハチミツの中に溶け込んだ花粉の色がそのまま表れます。（栃/だいたい色、キハダ/黄色、ニセアカシヤ/薄黄色など）その色は、灯した時に溶け口で炎に透かし出され、独特の美しさをもたらします。

## お願い

ミツバチが一生かかって集められる蜜の量は、たった小さじ一杯だそうです。また、蜜ろうを分泌するためには、10倍の量のハチミツを食べなければならぬそうです。この蜜ロウソク一本には、計算できない程のミツバチの労力がかかっているといえます。どうぞ最後まで魅力的に灯るために、ほんの少し手をお貸しいただきましたら幸いです。

- 1 日光や照明器具の紫外線で色があせてしまいます。お使いになれるまで、必ず包装したまま暗い所に保管して下さい。
- 2 本物の蜜ろうは寒い季節、表面に白い粉をまぶしたように「ろう粉」が付きますが、質や色は全く変わりありません。ドライヤーなどで温めると元の色艶が戻ります。
- 3 蜜ろうの性質に合わせて、太めの灯芯を使ってある為、ごく稀に炭化物が芯先に残って炎を乱すことがあります。そんな時は、いったん火を消し、取り除いてから再度点火して下さい。
- 4 風のある所では灯さないで下さい。ろうが流れやすくなります。ランタンなど、覆いのある燭台も流れやすくなりますので、細めのタイプもしくはティーライトをお使い下さい。
- 5 ろうが流れる場合がありますので、必ず燭台等をお使い下さい。また、炎の状態が悪くて流れそうな時は、一旦火を消し、冷ましてからお使いになれることをおすすめ致します。
- 6 灯芯はまん中に入れていますが、灯すと必ずどちらかに曲がります。パラフィンと違ってゆっくり灯る蜜ろうは、どうしても溶け口が片寄ってしまい、流れやすくなります。灯芯調整スティック（別売）や鉄釘などを使って、時々中心に寄せて下さい。

- 7 しばらくしても炎が極端に小さい時は、お手数ですが溶け口に溜ったろうを捨てて下さい。灯芯が短かったり、目詰まりしていることがあります。
- 8 燃え残った蜜ろうは、別売の再生用芯灯で再利用できます。
- 9 点火後すぐに消すと、火種が残り灯芯が燃えつきる場合があります。その場合、芯先を溶け口のロウに浸して消して下さい。
- 10 太めのサイズは、灯芯が倒れないように座金を使用しています。片づけの際に指を傷めないようお気をつけ下さい。

### ハチ蜜の森キャンドル

1988年、ハチ蜜の森キャンドルは、日本で初めての蜜ロウソク工房として、ここ朝日連峰の山麓に誕生しました。豊かな自然のもとミツバチが育まれ、養蜂家がハチミツを収穫し、その副産物のミツバチの巣で蜜ロウソクを作る。森やミツバチを心から愛おしく、そしてありがたく思います。それゆえに、蜜ろうの素の魅力を損なうことなく大切に製作し、多くの人に蜜ろうの灯りの魅力を感じていただきたいと願っております。

代表 安藤竜二

- ※万一、不良品等がございましたらお気軽にご連絡下さい。
- ※工房での蜜ロウソク販売は、5～12月の土、日曜日に。  
平日および冬期、また遠方からお越しの際は、お手数ですが必ず電話でご確認下さい。通信販売も行っております。
- ※工房および出張での蜜ロウソク作り体験は予約願います。

☎990-1573

山形県西村山郡朝日町立木 825-3

☎とfax 0237-67-3260

ホームページ [www.mitsurou.com/](http://www.mitsurou.com/)

メール [mitsurou@alto.ocn.ne.jp](mailto:mitsurou@alto.ocn.ne.jp)



(絵/小鹿朋美さん)

灯すとやさしい気持ちになれるのは  
このロウソクが  
森で収穫された蜜ろうで  
できているからです



お願い

色があせると、蜜ろうの魅力もあせてしまいます。

光があたらないよう、包装したまま暗いところで保管して下さい。